

問 18 あなたご自身、現在、同和地区に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の
 (1) ～ (11) のすべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1 そう 思う	2 どちら かとい えば	3 いど ちらと もいえ な	4 そど ちらか といえ ば	5 そう 思わ ない
(1) 所得の低い人が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(2) 親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(3) 同和地区外の人に対して、閉鎖的な意識を持った人が多い	1	2	3	4	5
(4) 地域社会（コミュニティ）の中での連帯意識を持った人が多い	1	2	3	4	5
(5) 人権問題について、意識の高い人が多い	1	2	3	4	5
(6) なにか問題が起こると、集団で行動することが多い	1	2	3	4	5
(7) 同和地区では、高齢者や障害のある人への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取り組みが進められている	1	2	3	4	5
(8) 同和問題を口実に、いわゆる「えせ同和行為」で不当な利益等を要求する人がいる	1	2	3	4	5
(9) 同和地区の人が、地域外の人との交流に力を入れている	1	2	3	4	5
(10) いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている	1	2	3	4	5
(11) 地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる	1	2	3	4	5

問 18-1 あなたが問 18 の回答のようなイメージを持ったのはなぜですか。
(○はいくつでも)

1. とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ
2. 自分の身近にいる人が話している内容などから
3. インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などの情報から
4. 学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから
5. 地方公共団体や民間啓発団体などの啓発資料（広報誌やちらしなど）から
6. 以前、同和地区あるいはその近くに住んでいて、その時の印象から
7. 同和地区に友だち（知人）がおり、その人の話から
8. その他、自らの体験に基づいて
(具体的に：_____)

問 19 現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがあると思いますか。
(○は1つ)

1. しばしば不利になることがある
2. たまに不利になることがある

3. 不利になることはない
4. わからない

問 20 へ
お進み
ください

問 19-1 それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(○は1つ)

1. 完全になくせる
2. かなりなくすことができる
3. なくすのは難しい

問 20 現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがあると思いますか。(○は1つ)

1. しばしば反対されることがある
2. たまに反対されることがある

3. 反対されることはない
4. わからない

問 21 へ
お進み
ください

問 20-1 それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(○は1つ)

1. 完全になくせる
2. かなりなくすことができる
3. なくすのは難しい

問 21 学校や職場、日常生活の中で、誰かが同和地区の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。(○は1つ)

1. 差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う(と思う)
2. 表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)
3. 表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまう(と思う)
4. ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)
5. 何もせずに黙っている(と思う)
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

問 22 あなたは、「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

→ 問 23 へお進みください

問 22-1 それは誰からですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 家族 | 6. 学校の先生 |
| 2. 親戚 <small>しんせき</small> | 7. 府や市町村の職員 |
| 3. 近所の人 | 8. 知らない人 |
| 4. 友だち | 9. その他(具体的に: _____) |
| 5. 職場の人 | |

問 22-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. そのとおりと思った | 3. 反発・疑問を感じた |
| 2. そういう見方もあるのかと思った | 4. とくに何も思わなかった |

問 23 あなたと、同和地区やその住民の方との関わりについてお答えください。

(○はいくつでも)

1. 同和地区やその近くに住んでいたことがある
2. 同和地区に友だち(知人)がいる
3. 同和地区内の施設(人権センターや隣保館など)を利用したことがある
4. 盆踊りやまつりなど、同和地区の人との交流事業やイベントに参加したことがある
5. 地域の身近な課題解決に向けて、同和地区の人と協働して取り組んだことがある
6. その他(具体的に: _____)
7. 同和地区の人との関わりはまったくない

問 24 同和問題を解決するために、次の(1)～(9)の施策や対応は、どの程度効果的だと思いますか。すべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	1 非常に効果的	2 やや効果的	3 あまり効果的ではない	4 効果的ではない	5 わからない
(1) 差別を法律で禁止する	1	2	3	4	5
(2) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	1	2	3	4	5
(3) 同和地区の人の自立を支援する取組みを一般の対策ですすめる	1	2	3	4	5
(4) 学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	1	2	3	4	5
(5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える	1	2	3	4	5
(6) 行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む	1	2	3	4	5
(7) 同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める	1	2	3	4	5
(8) 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)	1	2	3	4	5
(9) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする	1	2	3	4	5

最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。これまでお聞きしたことを統計的に分析するために、ご協力をお願いします。

問 25 あなたの性別は。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 26 あなたの年齢は。平成 22 年 11 月 1 日現在の満年齢でお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 20 歳代 | 2. 30 歳代 | 3. 40 歳代 | 4. 50 歳代 |
| 5. 60 歳代 | 6. 70 歳以上 | | |

問 27 あなたは結婚（事実婚を含む）されていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚（離別、死別を含む） |
|-------|-----------------|

問 28 あなたは、大阪府内および大阪市内にどのくらいの期間お住まいですか。(数字を記入) (現在お住まいの場所だけではなく、府内・市内の他の場所にお住まいだった期間も含めて、通算でお答えください。)

大阪府内に通算で

--	--

年

大阪市内に通算で

--	--

年

問 29 あなたは、となり近所や地域の外国籍住民とどのようなつきあいをされていますか。(この質問については、日本国籍の方のみ、お答えください。)(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 困ったときに助け合う外国籍住民がいる |
| 2. 家に招いたり、招かれたりする外国籍住民がいる |
| 3. 家の外で立ち話をする外国籍住民がいる |
| 4. あいさつを交わす外国籍住民がいる |
| 5. とおり近所や地域に、つきあいのある外国籍住民はいない |
| 6. とおり近所や地域に、外国籍住民はいない |

問 30 あなたは、関心のある人権問題の解決に向けて、なにか具体的な活動をしてみたいと考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. すでに活動している | 4. 誰かから誘われれば活動したい |
| 2. 活動に向け準備をしている | 5. 行動を起こそうとは思わない |
| 3. 機会があれば活動したい | 6. わからない |

問 31 あなたが最後に卒業された学校は、次の中のどれですか。(在学中の方は在学している学校をお答えください。)(○は1つ)

1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校
4. 大学、大学院
5. その他() <例：高等学校中退>

問 32 あなたが現在している仕事は、次の中のどれですか。いちばん近いものをお答えください。(○は1つ)

1. 自営業(農林業、商工サービス業、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者)
2. 公務員、教員
3. 民間企業・団体の経営者・役員
4. 民間企業・団体(従業員数 25 人未満)の従業員
5. 民間企業・団体(従業員数 25 人以上 100 人未満)の従業員
6. 民間企業・団体(従業員数 100 人以上 300 人未満)の従業員
7. 民間企業・団体(従業員数 300 人以上)の従業員
8. 派遣社員、契約社員、非常勤職員、臨時雇、パート勤め
9. その他の有業者(具体的に:)
10. 家事専業
11. 学生
12. 無職

問 33 あなたの現在の暮らし向きは、次のなかのどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|---------|--------|---------|-------|
| 1. 良い | 2. やや良い | 3. ふつう | 4. やや悪い | 5. 悪い |
|-------|---------|--------|---------|-------|

問 34 同和問題をはじめとする人権問題や今後の人権教育・啓発について、国や大阪府、大阪市に対して、なにかご意見、ご要望があれば、下記の欄に自由にお書きください。

アンケートはこれで終わりです。長時間にわたりご協力、誠にありがとうございました。

索引

(問 1)	人権に対する関心の度合	13
(問 2)	主要な個別の人権問題に関する基本的な意識の状況	15
(問 3)	大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価	25
(問 4)	差別に関する基本的な認識	28
(問 5)	結婚相手を考える際に気になること（なったこと）	51
(問 6)	住宅を選ぶ際の忌避意識	57
(問 7)	住宅の購入や入居を避ける理由	63
(問 8)	不動産取引の際に問 7 のような理由で避けることについての意識	66
(問 9)	個別の人権問題に関する行政の取り組み状況の変化	37
(問 10)	各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況	46
(問 11)	専門相談員による人権相談の認知状況	48
(問 12)	人権問題に関する学習経験	69
(問 12-1)	人権意識を高めるうえでとくに役立った(いちばん印象に残っている)学習	72
(問 12-2)	人権意識を高めるうえで役立った(いちばん印象に残っている)学習分野	75
(問 12-2)	人権意識を高めるうえで役立った(いちばん印象に残っている)学習形式	78
(問 13)	自分自身をどのように思っているか	81
(問 14)	社会に対する被受容感	88
(問 15)	同和問題を知ったきっかけ	116
(問 16)	社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素	119
(問 17)	同和地区に対する差別意識の現状	96
(問 17-1)	同和問題に関する差別意識がなくなる理由	108
(問 18)	同和地区に対するイメージ	99
(問 18-1)	同和地区に対するイメージを持った理由	113
(問 19)	同和地区の人に対する就職差別の現状認識	133
(問 19-1)	同和地区の人に対する就職差別の将来展望	136
(問 20)	同和地区の人に対する結婚差別の現状認識	138
(問 20-1)	同和地区の人に対する結婚差別の将来展望	141
(問 21)	差別的な発言に対する態度	144
(問 22)	「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験	122
(問 22-1)	「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手	124
(問 22-2)	「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想	127
(問 23)	同和地区やその住民との関わり	129
(問 24)	同和問題解決のために効果的と思われる施策、取り組み	147
(問 25)	性別	5
(問 26)	年齢	6
(問 27)	回答者の配偶関係	6

(問 28)	府内及び市内居住期間	7
(問 29)	となり近所や地域の外国籍住民とのつきあい	10
(問 30)	活動状況	8
(問 31)	最終学歴	8
(問 32)	職業	9
(問 33)	現在の暮らし向き	94
(問 34)	人権問題や今後の人権教育・啓発についての意見・要望	155